

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
大牟田市	上内	令和4年2月10日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	278ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	185ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	15ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	3ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	12ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

当該エリアには、農事組合法人が組織されており、水田耕作の大部分を担っているが、構成員の高齢化により耕作放棄地の増加が懸念される。
エリア内には、不整形や狭小な水田も多く、ほ場整備等による生産基盤の整備が担い手確保の課題となる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

後継者不在の農地については、農事組合法人を中心に集約するが、ほ場整備等の生産基盤の整備が必要。集約にあたっては、農地中間管理事業を活用する。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

法人支援の取り組み方針

県、JA、普及センター等の関係機関と連携し、農事組合法人の継続的な安定経営への支援を行う。

基盤整備への取組方針

担い手確保への重要な課題であることから、今後も取り組みエリアの役員と連携を行いながら、推進を行う。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(m ²)		
		貸付け	作業委託	売渡
1				
2				
3				
4				
5				
6				
	計			